

ツキノワグマに注意！



◎市内の山には、たくさんのクマが生息しています

毎年、山沿いの農地などで農作物への被害や、人身被害が発生しています。山菜・キノコ採り・登山などで入山する際は、クマがいるのは当然と思って十分注意し、山に入ってください。

特に、悪天候の日や沢音の大きい場所などでは、クマも人の気配に気付かないことがありますので、注意が必要です。

クマの出没を防ぐためには

(1) 農作業や入山する際に注意すること

- ・作業中にラジオなど音の出るものを携帯するなど、自分の存在をアピールする。
- ・クマ類の出没情報に留意し、クマ類の行動が活発になる早朝、夕方の作業時には、周囲に気を付ける。
- ・森林、斜面林などのそばの農地は、クマ類の出没ルートとなりやすいので特に注意し、周囲の灌木の刈り払いなどを行う。
- ・頻繁にクマ類が出没する地域においては、できるだけ単独での作業は避ける。

(2) 誘引物の除去など

- ・クマ類を誘引する生ゴミや野菜・果実の廃棄残さ等の適切な処理
- ・農地では、果樹園が最も被害を受けやすいため、収穫後の放置果実は適切に除去する。
- ・クマ類は、収穫物収納庫に入り込んで採食することもあるため、収納庫はきちんと施錠するなど管理を徹底する。
- ・草刈機などに使われるガソリンなどの揮発性物質も、クマ類の誘引物となるため、保管場所等に注意する。

もしもクマに遭遇してしまったら

- ・落ち着いて、クマに背を向けずに、ゆっくりとその場から離れましょう。
- ・クマを驚かすので、大声を出したり、走って逃げたりするのはやめましょう。

デントコーンなどの農作物被害を防ぐために

クマによるスイートコーンやデントコーンの被害対策として『電気牧柵』の設置が大変有効です。

市では、鳥獣害防止目的とした設置に対し、費用の一部を補助をしていますので、導入をお考えの方は市役所農林課にご相談ください。